

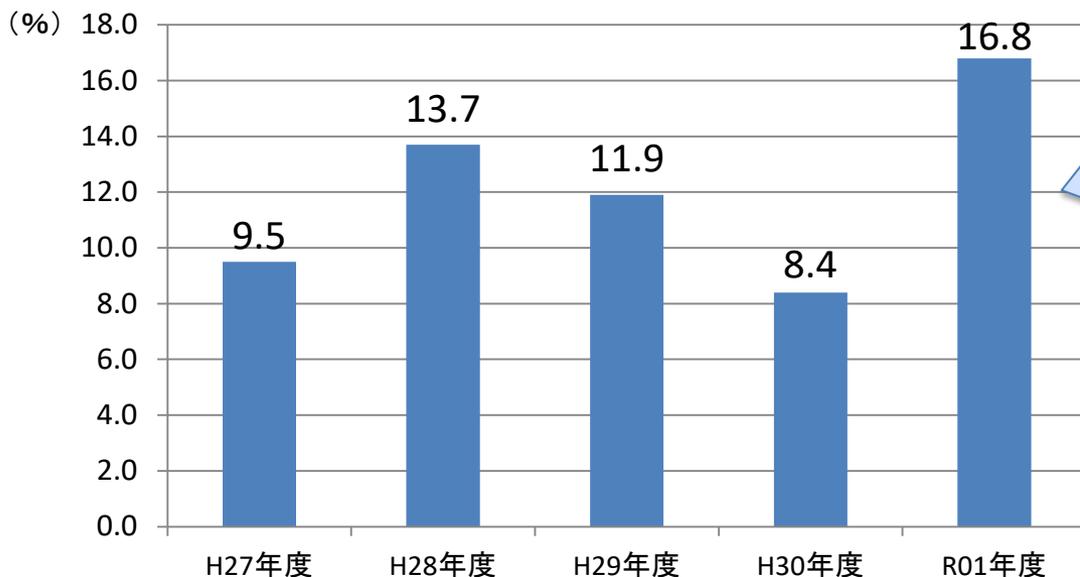
CPC(臨床病理検討会)の検討症例率

■ 解説: process指標

CPC(臨床病理検討会)とは、臨床医・病理医などが、治療中に院内で死亡し病理解剖を行った症例について診断や治療の妥当性を検証する症例検討会です。

これにより診療行為を見直すことで得られた知見を、今後の治療に役立てることができます。医学生、研修生の教育にも寄与し、その取り組みの状況を表す指標です。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

病理解剖の件数は世界的に減少していますが、本学では一定の解剖数を維持し、生前の臨床診断・治療の妥当性を評価するだけでなく、CPCを定期的に開催し、医学部としての卒前・卒後教育水準の維持・向上に努めています。以前、病理解剖は基礎の病理学講座で行われていましたが、平成26年度以降は病院の病理診断科と基礎の病理学講座が丸となって病理解剖業務を行うようになりました。

■ 定義

自院での死亡退院を対象とします。ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例を検討症例数に含めます。

■ 算式

分子: CPC件数 分母: 死亡患者数

■ 令和元年度国立大学病院報告書: 中央値7.20